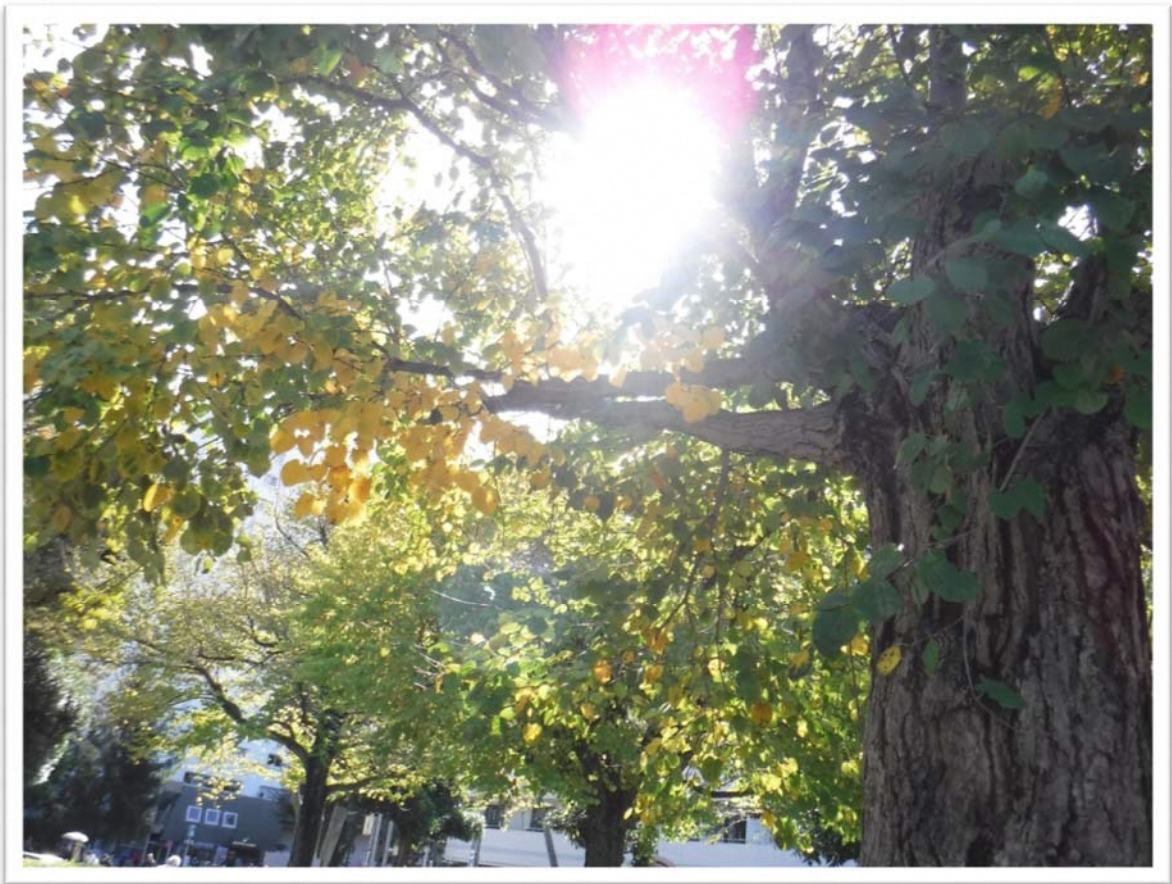


第6章 計画の進行管理

1 推進体制

2 計画の進行管理



第6章 計画の進行管理

1 推進体制

本計画は、区民・団体、事業者、区による取組のもとで推進します。

計画の着実な推進のため、文京区地球温暖化対策地域推進協議会を中心に、各種取組の推進と進行管理を行います。

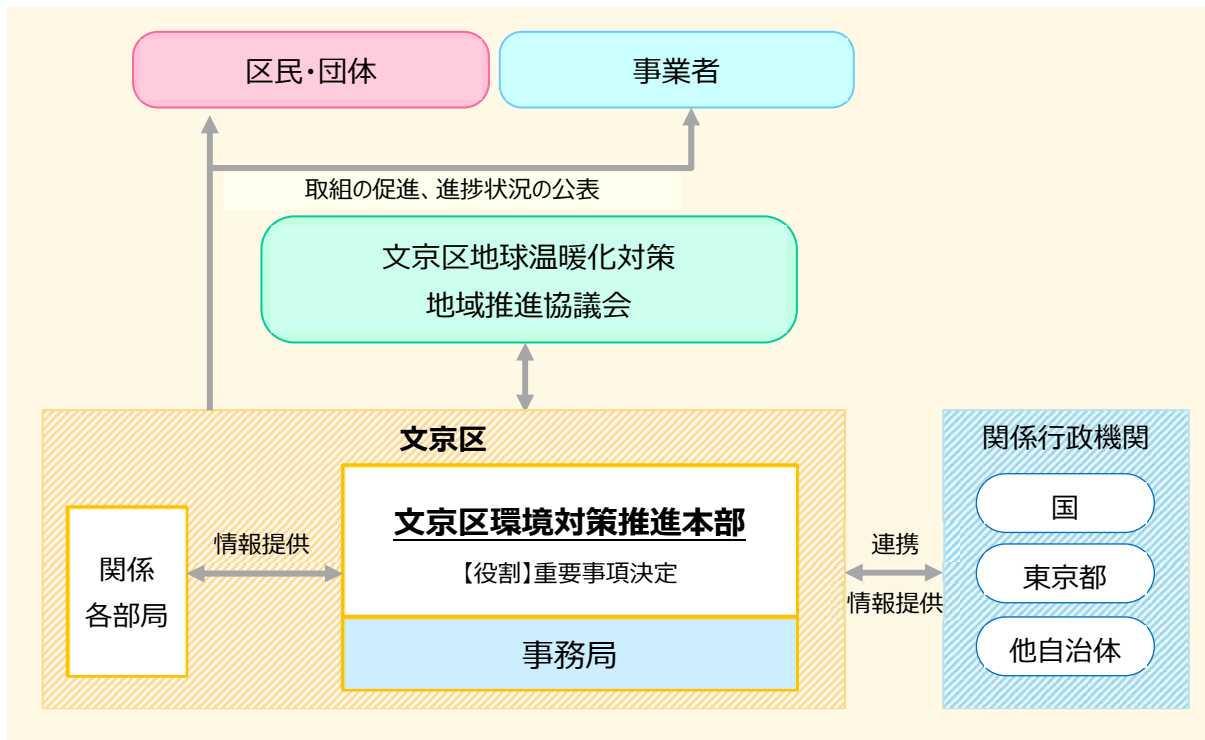


図 19 推進体制のイメージ

2 計画の進行管理

(1) 進行管理の基本的な考え方

本計画で掲げる目標を達成するためには、区民・団体、事業者、区のそれぞれが協働してアクションプラン*を実施していく必要があります。そのため、本計画では、「PDCA サイクル」に基づく進行管理を行い、計画の推進と継続的な改善を図ります。また、進行管理指標を設定し、アクションプラン*の実施状況や対策効果を把握するとともに、それらの評価結果に基づき、アクションプラン*の見直しを継続的に行います。

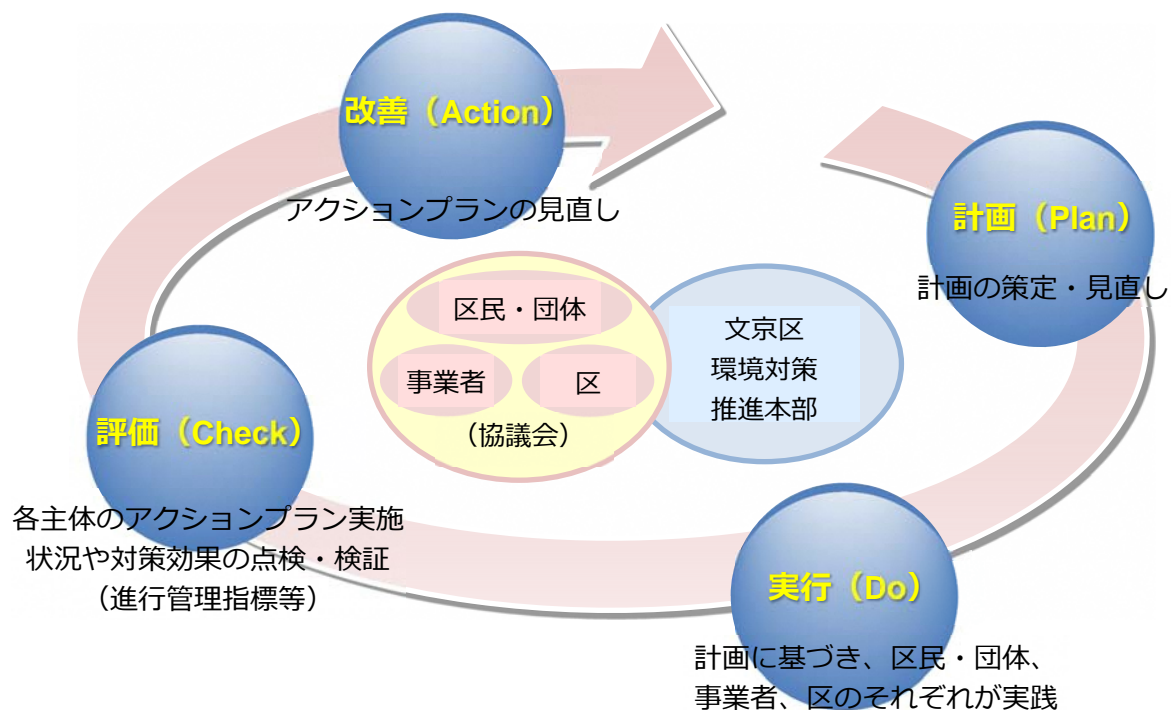


図 20 進行管理の基本的な考え方のイメージ

「ナッジ（英語：nudge）」は、「そっと後押しする」という意味合いを持つ言葉で、経済的インセンティブではなく、行動科学の知見に基づく工夫や仕組みによって、人々がより望ましい行動を自発的に選択するよう誘導する新たな政策手法として着目されています。

2017（平成 29）年にノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学のリチャード・セイラー教授とハーバード大学のキャス・サンスティーン教授の共著『Nudge』（2008 年）では、ナッジを次のように定義しています。

「選択を禁じることも、経済的なインセンティブを大きく変えることもなく、人々の行動を予測可能な形で変える選択アーキテクチャーのあらゆる要素」

セイラー教授は、ナッジを通じて選択アーキテクチャー（人々が選択する環境）を改善することで、選択肢を制限することなしに人々が賢い選択をできるようになるとし、「自分自身にとってより良い選択ができるように人々を手助けすること」がナッジの目的であるとしています。

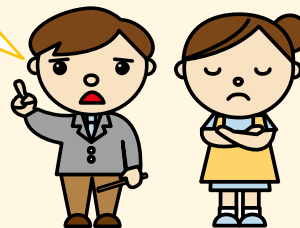
行動を促すような呼びかけの工夫を取り入れて、家族や友人等、身近な人々の環境行動をナッジ（そっと後押し）してみたいかがでしょうか。

出典）年次報告書（平成 29・30 年度）（環境省 日本版ナッジ・ユニット BEST）より作成

Before 今まで...

自分にとって良いことであっても、現状を変えるために行動を起こすことはなかなか難しい...

このまま地球温暖化が進むと世界レベルでのリスクが増大します。



それって私にできることあるのかな...

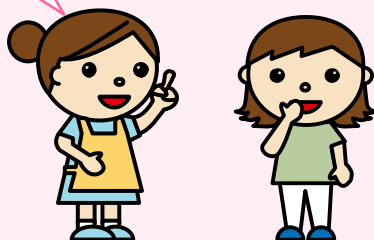
After ナッジ実践！

LED*化 編



近所の△☆店が店内全部LED*化したら毎年の電気代が●●万円も減ったらしいよ。

へえー、私もやってみようかな！



スマートフォンアプリ 編



同じ世帯構成の家では、1ヶ月の平均電気代が●●円ですよ。

うちも同じくらいに電気使用量を減らさなきゃ！



(2) 進行管理指標の設定

本計画の進行管理にあたり、長期的にモニタリングしていく指標を設定し、アクションプラン*の進捗状況を把握していきます。

表 11 進行管理指標

分野	指標	現状 (2018年度)	将来の目安 (2030年度)
1 省エネルギーの推進	地球温暖化に対する意識向上率（区民）	91%	100%
	地球温暖化に関する意識向上率（事業者）	89%	100%
	庁内 CO ₂ 実排出量（床面積:100m ² 当たり）	4.17 t-CO ₂	3.10 t-CO ₂
2 再生可能エネルギー* 等の利用促進	区内再生可能エネルギー*設備導入量	4,134 kW	4,953 kW
3 スマートシティ*の推進	コミュニティバス利用者数	933,503 人	現状より増加
	自転車シェアリング*利用回数	345,211 回	現状より増加
	※1		
4 循環型社会の形成	※2		
5 気候変動の影響への 適応	地域防災力（活動助成率）	68 件	現状より増加
	透水性舗装路線数及び雨水浸透柵数	—	現状より増加
	熱中症救急搬送人員数	94 名	現状より減少

※1 「文京区みどりの基本計画」で定められる指標の中から、設定していく予定です。

※2 改定される「文京区一般廃棄物処理基本計画」で定められる指標の中から設定していく予定です。

